

淑徳大学 総合福祉学部

社会福祉学科

教職履修カルテ

学籍番号	
氏 名	
連絡用アドレス	
取得希望免許	小学校二種免許

		前期 確認印	後期 確認印
1年 教職体験研究	先生	年 月 日	年 月 日
2年 カレッジアワー	先生	年 月 日	年 月 日
3年 専門研究ゼミ	先生	年 月 日	年 月 日
4年 専門研究ゼミ	先生	年 月 日	年 月 日

目 次

プリントアウトされたものは、以下の順番に綴じるようにしましょう。

No.	シート名	用紙	ページ数
1	表紙	A4	1
2	目次	A4	1
3	ポートフォリオについて	A4	1
4	キャリアデザイン	A4	1
5	学修成果(汎用的技能、態度・指向性)	A4	1
6	正課科目の学修状況(4枚)	A4	4
7	正課外科目	A4	1
8	その他の活動	A4	1
11	自己評価シート(小)	A4	2
15	学びを振り返る	A4	1
合計			14

学生ポートフォリオについて

[目次へ](#)

1. 目的

教育福祉学科では、次のふたつの目的をもって、「学生ポートフォリオ」を運用していきます。

(1)PDCAサイクルの活性化

ひとつ目は、P(plan)D(do)C(check)A(action)サイクルの活性化です。大学入学時、みなさんは、それぞれ卒業後を見越して、4年間で達成したい目標をもって入学してきましたね。その目標を実現するためには、計画を立て、実行にうつす必要があります。計画は、1日や1週間という短期間のものであれば、1年あるいは4年間という長期にわたるばあいもあるでしょう。そして実行にうつした後は、その結果を振り返り、反省点を踏まえて、次の行動を起こしていきます。このことを意識的に行うことで、その時その時点での目標を見失わずに何事にも前向きに取り組むことができ、成果を得ることにつながります。

(2)学修成果の確認

大学の講義を受けた後には、それぞれの科目ごとに、成績評価を受けることになります。しかし、本当の意味での学修成果は、それだけではかることはできません。各科目で学んだ知識や技能が、他の科目と関連づけられて、さらに深い理解を得られたり、正課外科目やボランティア活動、サークル活動などの場で、実践力や考える力が育まれたりしていきます。むしろ、こうした相互作用の中で培われた力の方が、個々の成績にましてより重要だとも言えるでしょう。したがって、そうしたみなさんの成果を確認し、教員と共有することを、この「学生ポートフォリオ」のふたつ目の目的として置いています。なおかつ、学科としても、把握した成果を、みなさんの大学生活における学びの質をよりいっそう高める教育創りの材料としていきたいと考えています。

なお、学士力や教育福祉学科としての専門性がどのようなもので、何の科目が基盤となっているのかについては、シラバスや教育福祉学科カリキュラムマトリックスで確認することができます。適宜参照してください。

また、このポートフォリオは「教職履修カルテ」を兼ねています。「教職履修カルテ」の作成は、4年次後期の「教職実践演習」(必修)を履修する際の必須条件となっています。免許資格の取得を目指すみなさんには、特に丁寧に記載することが求められますので、注意してください。

2.運用方法

日常的に、さまざまな活動の記録を手元に残すようにしましょう。そして、随時、この「学生ポートフォリオ」に振り返ったことを記入しておきます。その上で、**半期に一度、アドバイザー教員と面談の上、内容の確認を行っていきます。**大切な記録ですから、**ボールペン等で丁寧に書く**ようにしましょう。

電子ファイルで運用する場合にはデータの消失等がないよう、こまめにバックアップを取り、**面談の際には新たに印刷したものを持参する**ようにしてください。

キャリアデザイン ～夢の実現に向けて～

[目次へ](#)

高校時代の自分を振り返って(自信のあること・自信のないこと)
入学時:4年間で成し遂げたいこと 記入日(年 月 日)
1年後期を迎えるにあたって ～あなたが理想とする職業人を具体的にイメージしてみよう～ 記入日(令和 年 月 日)
2年目を迎えるにあたって ～あなたが理想とする職業人を具体的にイメージしてみよう～ 記入日(令和 年 月 日)
3年目を迎えるにあたって ～あなたが理想とする職業人を具体的にイメージしてみよう～ 記入日(令和 年 月 日)
4年目を迎えるにあたって ～あなたが理想とする職業人を具体的にイメージしてみよう～ 記入日(令和 年 月 日)

学籍番号（ ）氏名（ ）

1年・2年・3年・4年 前期・後期 分

個人名を削除してコピーを取り、集計することへの承諾
有 無 （どちらかに○をつけてください。）

5

学修成果(汎用的技能、態度・指向性)の振り返り

[目次へ](#)

この表(学士カールブリック)は、学生の皆さんが、淑徳大学の学生として求められる能力等を、どの程度達成できているかを確認するためのものです。
学期毎にこのループブリックを用いて自身の達成レベルを振り返り、学修を深めるツールとして活用してください。

	項目	淑徳大学が保証する能力の内容		レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期
汎 用 的 技 能 と し て 身 に 付 け る 能 力	コミュニケーションスキル(日本語)	日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。	日本語	他者の話を正確に理解するとともに、状況や場面に即して、伝えたい内容を他者に適切に伝えるだけでなく、文献や資料を正確に読み取り、目的に応じた文章表現ができる。	他者の話を正確に理解するとともに、状況や場面に即して、伝えたい内容を他者に適切に伝えるだけでなく、目的に応じた文章表現ができる。	他者の話を正確に理解するとともに、状況や場面に即して、伝えたい内容を他者に適切に伝えることができる。	伝えたい内容を他者に正確に伝えることができる。								
	コミュニケーションスキル(英語)		英語	状況や場面に即した手段により、適切な英語で意思疎通をはかることができる。	英語を用いて、意思疎通をはかることができる。	英語を用いて、日常会話ができる。	英語を用いて、自己紹介ができる。								
	論理的思考力	情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。		対立する複数の主張について、客観的な事実に基づき、批判的、多面的に検証を行うことができる。	客観的な事実に基づき、矛盾や飛躍なく理由を説明しながら、原因から結論に至ることができる。	客観的な事実を根拠として結論を主張できる。	客観的な事実を正確に認識できる。								
	問題解決力	問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。		自ら現実の問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析・整理し、妥当な解決策を立案し、実際に計画的に、そして修正を加えながら解決策を実行できる。	自ら現実の問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析・整理し、妥当な解決策を立案できる。	与えられた問題に対して、自らそれに関する情報を収集・分析・整理し、解決策を立案し実行できる。	与えられた問題に対して、解決策を立案できる。								
態 度 ・ 指 向 性 と し て 身 に 付 け る 能 力	自己管理能力・倫理観	自らを律して行動でき、自己の良心と社会の規範やルールに従って行動することができる。		社会の規範やルールだけでなく、自己の良心に従って能動的に行動できる。	社会の規範やルールを理解し、人としてふさわしい行動をとることができる。	他者を思いやり、迷惑をかけない行動をとることができる。	他者との価値観の違いに気づき、善悪の判断がつく。								
	チームワーク・リーダーシップ	他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。		自分の果たすべき役割を理解するだけでなく、他のメンバーにも働きかけながら、チームの目標実現のために貢献することができる。	自分の役割を理解し、他のメンバーの置かれた状況に配慮しながら、チームのために行動することができる。	チームの目標を理解し、求められた課題に沿って行動することができる。	チームの目標を意識して、チームに参加することができる。								
	市民としての社会的責任	社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使しつつ、社会の発展のために積極的に関与できる。		自分自身の社会的な役割を理解し、市民としての義務と権利を行使しながら、自分と社会とを共に発展させようすることができる。	自分自身の社会的な役割を理解し、市民としての義務と権利を行使しながら、積極的に社会の改善に関与することができる。	自らが属する社会の一員としての自覚を持つとともに、市民としての義務と権利を行使するための知識と技能を持ち、社会に参加することができる。	自らが属する社会の一員としての自覚を持ちながら、社会に参加することができる。								
	生涯学習力	卒業後も自主・自立して学習することができる。		自分自身の問題関心だけではなく、自分の周囲を取り巻く社会が直面している諸課題を直視し、それらの課題を踏まえて学習テーマを設定し、計画を立てて、主体的に学ぶことができる。	自分自身の問題関心にもとづき、自分自身の手で学習テーマを設定し、計画を立てて主体的に学ぶことができる。	自分自身が興味を持った学習テーマについて、自ら計画を立てて学ぶことができる。	自分自身が興味を持った学習テーマについて、大学及び教員の支援を受けながら計画を立てて学ぶことができる。								
統合的な学習経験と創造的思考力		これまでに獲得した知識技能等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力。		自らが立てた課題の解決のために、今までに学んだ知識・技能・態度を統合的に活用しながら、自分なりの考えを展開することができる。	自らが立てた課題の解決のために、今までに学んだ知識・技能・態度を用いて、自分なりに考えることができる。	与えられた課題を解決するために、今までに学んだ知識・技能・態度を統合的に活用することができる。	与えられた課題を解決するために、今までに学んだ知識・技能・態度を活用することができる。								

※このポートフォリオは「教職履修カルテ」を兼ねています。免許関連科目については、特に留意して記入しましょう。

[illegible]

※このポートフォリオは「教職履修カルテ」を兼ねています。免許関連科目については、特に留意して記入しましょう。

[illegible]

※このポートフォリオは「教職履修カルテ」を兼ねています。免許関連科目については、特に留意して記入しましょう。

[illegible]

※このポートフォリオは「教職履修カルテ」を兼ねています。免許関連科目については、特に留意して記入しましょう。

[illegible]

正課外科目の振り返り

自らの人間性を高め、教養を深めるために積極的に正課外科目を受講しましょう。
受講したら下に科目名を記入し、各科目について振り返りをしましょう。

正課外科目名	履修期間	振り返り
	令和 月 年 日 ～ 令和 月 年 日	学んで考えたこと
		更なるステップアップについて考えたこと
	令和 月 年 日 ～ 令和 月 年 日	学んで考えたこと
		更なるステップアップについて考えたこと
	令和 月 年 日 ～ 令和 月 年 日	学んで考えたこと
		更なるステップアップについて考えたこと
	令和 月 年 日 ～ 令和 月 年 日	学んで考えたこと
		更なるステップアップについて考えたこと
	令和 月 年 日 ～ 令和 月 年 日	学んで考えたこと
		更なるステップアップについて考えたこと
	令和 月 年 日 ～ 令和 月 年 日	学んで考えたこと
		更なるステップアップについて考えたこと
	令和 月 年 日 ～ 令和 月 年 日	学んで考えたこと
		更なるステップアップについて考えたこと
	令和 月 年 日 ～ 令和 月 年 日	学んで考えたこと
		更なるステップアップについて考えたこと

その他の活動の振り返り

部活動（サークル活動）、ボランティア活動、アルバイトなどについて記録し、それぞれの場面における自らの成長を振り返りましょう。

学年	活動内容（項目ごとに箇条書き） ※改行はAlt+Enterです。	自身の成長を実感できたこと、エピソード
1年 前期		
1年 後期		
2年 前期		
2年 後期		
3年 前期		
3年 後期		
4年 前期		
4年 後期		

自己評価シート(小学校教諭)

必要な資質能力についての自己評価

[目次へ](#)

必要な資質能力の指標			自己評価			
			1:かなり努力が必要である 2:少し努力が必要 3:どちらともいえない 4:ある程度できている 5:できている			
項目	項目	指標	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
学校教育についての理解	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、児童に対する責務を理解していますか。				
	教育の理念・教育史・思想の理解	教育の理念・教育に関する歴史・思想について基礎理論・知識を習得していますか。				
	学校教育の社会的・制度的・経営的理解	小学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。				
児童についての理解	心理・発達の児童理解	児童理解に必要な心理・発達の基礎知識を習得していますか。				
	集団の形成	集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。				
	児童の状況に応じた対応	児童一人ひとりの特性や状況に応じた理解ができますか。				
	健康・安全への配慮	児童の健康・安全への配慮ができますか。				
他者との協力	他者意見の受容	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。				
	保護者や地域との連携協力	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。				
	共同授業の実施	他者と共同して授業を企画・運営・展開することができますか。				
	他者との連携・協力	他者と協力して課題に取り組むことができますか。				
	役割遂行	集団において、率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をきちんとこなすことができますか。				
コミュニケーション(対人的かかわり)の能力	対人関係づくり	オープンに人と関わろうとしますか。				
	児童に対する態度	積極的に児童に声をかけたり、親しみをもった態度で接することができますか。				
	発達段階に応じたコミュニケーション	児童の発達段階を考慮して、適切に接することができますか。				
	公平・受容的態度	児童の声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。				
	社会人としての基本	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。				
	教師の言動がもつ意味の理解	教師の言動が児童に与える影響について理解していますか。				

教育課程に関する基礎知識・技能	教科書・小学校学習指導要領	教科書や小学校学習指導要領の内容を理解していますか。				
	教育の計画・立案	児童の発達・学習状況を考慮した計画・立案ができますか。				
	教育課程の構成に関する基礎理論・知識	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。				
	道徳教育・特別活動	道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。				
	総合的な学習の時間	「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。				
	情報機器の利用	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。				
	学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。				
教育実践	教材分析能力	教材を分析することができますか。				
	授業構想力	教材研究を生かした授業を構想し、児童の反応を想定した指導案としてまとめることができますか。				
	教材開発力	教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができますか。				
	授業展開力	児童の反応を生かし、みなで協力しながら授業を展開することができますか。				
	表現技術	板書や発問、話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身につけていますか。				
	学級経営力	学級経営案を作成することができますか。				
課題探求	課題認識と探究心	自己の課題を認識し、その解決に向けて、学び続ける姿勢をもっていますか。				
	反省的思考力	自らを省みて、思考・行動を深く検討する姿勢をもっていますか。				
	課題発見力	日々の学校教育において、自ら課題を発見することができますか。				
	教育時事問題	学校教育に関する新たな課題（いじめ、不登校、特別支援教育など）に関心を持ち、自分なりに意見をもつことができますか。				

学びを振り返る

※教免取得希望者は、教職に必要な資質能力に関し自己評価を記入すること。

1 年前期	記入 月 日	
1 年目を終えて	記入 月 日	
教員から ※教員免許取得希望者については、教職に必要な資質能力に関する評価を中心に記載のこと。		
2 年前期	記入 月 日	
2 年目を終えて	記入 月 日	
教員から ※教員免許取得希望者については、教職に必要な資質能力に関する評価を中心に記載のこと。		
3 年前期	記入 月 日	
3 年目を終えて	記入 月 日	
教員から ※教員免許取得希望者については、教職に必要な資質能力に関する評価を中心に記載のこと。		
4 年前期	記入 月 日	
4 年目を終えて	記入 月 日	
教員から ※教員免許取得希望者については、教職に必要な資質能力に関する評価を中心に記載のこと。		